

2026 年度 明治大学英語部 前期活動報告・後期活動予定

《全明執行部》

英語部委員長：谷藤 優矢、渉外：風間 渉、企画部長：矢舗 紗奈、会計：曽原 未夢

《2 年全明》

議長：市川 恵太、副議長：今井 綾音・宮坂 佳延、会計：杉野 佑真、

渉外：武政 優月・寺岡 柚葉

《セクションチーフ》

Drama：矢舗 紗奈、Discussion：谷藤 優矢、Debate：海老名 理夏

【全体：前期活動報告】

4 月：新入生歓迎活動

今年度は前年度より更に Voting の時期を遅らせ、新入生がしっかりと各セクションの特性や、違いについて理解した後に、セクションを選べるように活動した。

また対面新歓や新歓イベントの数を増やしたり、対面新歓の参加費を抑えたり、できる限り部としての魅力を伝えてから入部してもらえるよう活動した。体験プレパ（＝各セクションの体験会）は各セクションに分かれて対面または Zoom を用いて新入生の春学期という多忙な時期に部の雰囲気理解しやすいように時間や手段を調整した。

6 月 5 日：Voting（セクション決定）

昨年度は、入部人数は多いが、継続者は少ないという問題が見られたため、それを解決するために、今年の新歓ではたくさんの新入生を入れることを目的にするのではなく、新歓イベントを通じて、新入生に仲良くなってもらい、そのまま ESS という場所で出来た友達と ESS の活動を継続してもらうことを目標とした。

結果としては昨年度の 113 名の入部者に対し、今年度は 11 人減の 102 人となった。各セクションの入部者の数は以下の通りである。

#	セクション	（参考） 2025 年度	2026 年度	前年差
01	Drama	15 名	16 名	+1 名
02	Discussion	88 名	72 名	-16 名
03	Debate	16 名	14 名	-2 名
計	-	113 名	102 名	-11 名

（2 年全明議長 市川 恵太）

8 月 17 日～9 月 13 日：Summer Training Camp

今年度は昨年度同様、1 班体制で実施し、例年よりも後ろ倒しのスケジュールで開催した。また、合宿所も例年とは異なり、初めて山梨県鳴沢村の「森の家久野屋」に宿泊し、「フジエポックホール」にて本番発表を行った。参加者は昨年度より少ない 34 名となったが、大ホールの客席や設備、限られた予算を十分に活用することで、充実した環境の中でイベントを実施することができた。その結果、参加者全体の満足度も大きく向上した。以下が合宿のスケジュールである。

- ・1 日目：最終準備、リハーサル
- ・2 日目：本番発表、レクリエーション

・3 日目：結果発表

少人数での実施だからこそ、参加者同士の距離が近まり、一体感や充実感のあるイベントとなった。参加者からも、「舞台に立つことの楽しさを知った」「来年も携わりたい」といった声が寄せられた。今後も本イベントを継続していくことで、より多くの部員に舞台に立つ楽しさや仲間と一つのものをつくり上げる喜びを感じてもらい、充実した経験を提供していきたい。

(3 年全明企画部長 矢舗 紗奈)

【全体：後期活動予定】

10月14 日：前期納会

10～12月：ホームミーティング班（新歓時のグループ）でのイベント、全体活動でのイベント（運動会等 内容は要検討中）

12月：エレクション：次期 118 期全明執行部役員を選出。後日次期全明執行部役員を発表。

2月：後期納会：各セクションチーフが後期の活動報告、次年度の目標発表を行う。

=====以下、下記セクションの活動報告

●Drama Section Chief 矢舗 紗奈

【前期活動報告】

4 月：春公演練習期間(開始は 3 月 12 日)。

総勢 18 名のメンバーで行った。

5 月：春公演練習期間。1st、2nd スルーを実施。

2nd スルー実施の際に OB に依頼、客観的な講評をいただいた。

6 月：春公演練習期間。3rd スルーと小屋入りを実施。

公演後に反省会を行い、後期の冬公演に向けての改善点や企画について話合った。

6 月 12,13 日：春公演『TRUTH』を明治大学猿楽町校舎アートスタジオにて計 3 公演を上演。

延べ 130 名動員し、部員の関係者だけでなく一般のお客様にもご来場いただいた。

公演詳細：<https://canva.link/24lrg3hkculpp6u>

【後期活動予定】

10 月：冬公演練習開始。キックオフとメモライズチェックを予定。

11 月：冬公演練習期間。1st スルー、2nd スルーを予定。

12 月：冬公演練習期間。3rd スルーを予定。

1 月：小屋入りを予定

1 月 冬公演上演予定（詳しい日程は未定）場所は明治大学猿楽町アートスタジオ。

題材は『ザ・プロム』。

●Discussion Section Chief 谷藤 優矢

【前期活動報告】

5/2-3 東京遠征 2026

昨年同様 3 年生はチェアパーソンとして、2 年生はプレイヤーとして同大会に参加および運営を行い、阪大、関学、同志社大学と交流を深めた。

7/19 Assembly East

例年夏に開催される競技ディスカッションの全国大会 関東予選に参加。6 月から行われた予選を経ての本番が行われた。今年は明治大学から谷藤（法学部 3 年）が甲 4 ランク、西田（商学部 3 年）が甲 3 ランク、

市川（法学部 2 年）が乙ーランクを獲得した。その他の 3 年、2 年も健闘し来年度に向けての飛躍を期待させる年となった。

9/18-19 セクションキャンプ 2026

ディスカッションセクションのみでの合宿であるセクションキャンプを昨年度同様開催、旅行会社との連携のもと今年度は福島県裏磐梯に宿泊した。昼は球技大会 夜は BBQ と花火大会、ディスカッションを行い、レクリエーションを通じてセクション内でのコミュニケーションを図った。

【後期活動予定】

9月： Meiji Jr. Discussion 2026

10月： 青山学院 Open

早稲田 Open

関西遠征：関西に行き、大会に参加。

11月： 慶應 Open

フレッシュマンディスカッション：1 年生向けのインナー大会。

12月： 立教 Open

東京女子大クリスマスジョイント

明治 Open：明治大学主催の大会

3月： 春の大セミナー：競技ディスカッションの関東大会

●Debate Section Chief 海老名 理夏

2026 年度前期、明治大学 ESS ディベートセクション(以下明治)は、新入生を中心とした基礎力強化と他大学との積極的な交流を軸に活動を展開した。週 3 回の通常練習に加え、JPDU（日本パラメンタリーディベート連盟）によるコーチ派遣制度を活用し、継続的に実戦経験を積むことでスピーキング力や戦略的思考力を磨いた。

【前期活動報告】

毎週水曜日・木曜日・土曜日の通常練習に加えて、JPDU によるコーチ派遣制度に申し込み、月 2 回程度コーチングを受けている。また以下に挙げる大会にも参加した。

4 月 11 日・12 日 JPDU Spring Tournament

明治からは他大学とのジョイントチームで 1 名が参加

5 月 30 日 成蹊ジョイント

成蹊大学で行われた大学入学後のディベート経験が 1 年未満のディベーターを対象にした North American Style(以下 NA)の大会。明治からは佐藤優伍が Communication Director として運営に携わった。

6 月 13 日 はらぺこ杯

大学入学後のディベート経験が 1 年未満のディベーターを対象にオンラインで行われた NA 大会

明治からは他大学とのジョイントチームで 1 名が参加し 3 勝 1 敗で 2 位

引地が Open 2nd Best Speaker に選出される

6 月 27 日・28 日 Nagoya Debate Open

愛知淑徳大学星が丘キャンパスで行われる Asian Parliamentary Style の対面大会

明治からは他大学とのジョイントチームで 1 名が参加

7 月 5 日 若葉杯

大学入学後のディベート経験が1年未満のディベーターを対象にオンラインで行われたNA大会明治からは他大学とのジョイントチームで1名が参加

8月8日・9日 銀杏杯

東京大学駒場キャンパスで2日間に渡って行われたNA1年生最強決定戦
明治からは2チームが出場

【後期活動予定】

9月26日・27日 *Evergreen Cup*

上級生と1年生のチーミングを原則とするBPのオンライン大会
明治からは1チームが出場予定

10月3日 *Sun Sun Cup*

大学入学以降のディベート経験が3年未満であることを出場条件とするBPのオンライン大会
明治からはMedia Directorとして1名が運営に携わる予定

11月14日・15日 梅子杯

成蹊大学で行われる、日本一歴史の1年生最強決定戦のNA大会
明治からは1チームが出場予定

12月5日・6日 *Japan BP*

オンラインで行われるBPの国際大会
明治からは他大学とのジョイントチームで1名が参加予定

詳細は未発表であるが、1月以降にも、Tokyo Mini, Tea Cup, JPDU Spring Seminar, Kisaragi Cup, Keio Debate Open, Asian Bridge, The Kansaiなどのレクチャー・大会が予定されている

【支援金の使用用途】

昨年度いただきました支援金 30 万円につきましては、昨年度の各セクションにおける支出割合に基づき、Discussion Section に 177,000 円、Drama Section に 75,000 円、Debate Section に 48,000 円と振り分けさせていただきました。

具体的な内訳につきましては、以下の通りご報告いたします。

#	セクション	支援金	用途
01	Drama	75,000 円	冬公演にかかる機材レンタル費(105,000 円)の一部として使用させていただきました。 約 130 名の方にご来場いただき、いただいた支援金を活用することで、規模を拡大するとともに、演出や舞台設備など細部までこだわった公演を実施することができました
02	Discussion	177,000 円	主に当部が主催する「明治オープン」の運営費（総額 326,767 円）の一部として活用させていただきました。他大学主催の大会や関東大会・全国大会へも積極的に出場しており、いただいた支援金のおかげで部員が参加費の負担を気にせず活発に活動できております。
03	Debate	48,000 円	大会参加費(総額 66,000 円)の一部として活用させていただきました。昨年度より本格的に活動が再開し、出場機会も増えておりますが、OBOG の皆様からの温かいご支援のおかげで、より一層活動の幅を広げることができております。
計	-	300,000 円	

皆様からのご支援に部員一同、心より感謝申し上げます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。